

登録コード	F3B71540	開講年度	2026			
授業科目	輪講				担当教員	小関 道彦 他
英文授業名	Seminar on Engineering and Science				副担当	渡辺 健太郎・照月 大悟
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 2 Fカリ					
	【2022年度以前カリ対象】ヒトと環境にやさしい機械を創造するための専門的知識と課題解決能力				卒業研究に役立つための背景・専門知識を身につける。	
	【2022年度以前カリ対象】コミュニケーションおよび情報収集・発信能力				先行研究の手法や成果をまとめ説明できるようになる。	
	【2022年度以前カリ対象】課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できるデザイン力と実行力				関連研究の論文をみつけることができるようになる。	
	2 4 Fカリ・機械設計ⅠⅡコース, 2 3 Fカリ・機械設計ⅠⅡコース					
	【2023年度以降カリ対象】課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できる能力を有する				・卒業研究に役立つための背景・専門知識を身につける。 ・先行研究の手法や成果をまとめ説明できるようになる。 ・関連研究の論文をみつけることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	バイオエンジニアリングの各専門分野に関連した技術文献、研究論文、専門書などを取り上げ、参加者が輪番で講義ないしは発表し、討論を行う。					
(5)授業計画	輪講は各配属研究室において実施するため、その内容は各研究室で指定された計画に基づいて履修する。内容は卒業研究テーマと連動している場合が多い。					
(6)成績評価の方法	発表（紹介文献の理解と説明）と討論への参加態度などから総合的に評価する。					
(7)成績評価の基準	(a) 輪読した論文と書籍の内容をレジュメや発表資料として纏めることができる (b) (a)で作成した資料を基に研究室のメンバーの前で発表することができる (c) (b)の発表に対して質問やコメントをすることができる (d) (c)の質問やコメントに対して十分に説明することができる (a)-(d)項目を満たして、分かりやすい資料作成と発表、的を得た質問と活発な議論かつ教員を感心させることができれば「卓越している」。 (a)-(d)項目を満たして、分かりやすい資料作成と発表、的を得た質問と活発な議論ができれば、「かなり上にある」。 (a)-(d)項目を満たしていれば、「合格水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	授業前に輪講テーマについて図書館等を利用して予習し、授業後は輪講で出された課題に取り組み、レポートや発表資料を作成する。					
(9)履修上の注意	卒業研究の背景・内容・成果にもつながる授業科目である。 国際的なスキルアップをねらうためにも外国語（特に英語）の論文を読みこなすよう努めること。					
(10)質問,相談への対応	指導教員の指示に従うこと。					
(11)学生へのメッセージ	学術的な資料を読みこなし、その内容を聴講者に説明するという形態を取ることが多い。 適切な説明をするためには相当量の調査と準備が必要になる。 輪講を通じて自らの知識を深め、広げること。参加メンバーに理解してもらうためのわかりやすい発表スキルを身につけること。 どれだけ精力を注いで準備をするかによって、学生諸君の知識と能力の向上に差がでると言ってもよい。					
(12)その他	座学ではありませんが、本授業に取り組む時間は必要です。月曜日から金曜日までの日中、毎日きちんと卒業研究に取り組むのは、この単位取得の必要条件です。					
【教科書】	配属された研究室の指導教員の指示による。					
【参考書】	配属された研究室の指導教員の指示による。					